

土佐の行方をみつめる 吉田茂



昭和59年、高知空港ジェット化を機会に、戦後日本の復興の端緒を開いた偉大な政治家、吉田茂の功績をたたえ、銅像が建てられました。空港緑の広場に、台座からの高さ3.8m、大海原を望むよう南向きに見事なブロンズの吉田茂が立っています。

高知公園の板垣退助、桂浜の坂本龍馬、横波半島の武市半平太など、県内各地の公園に、土佐の偉人の銅像を建てるという流れがあり。かねてから、吉田茂の銅像をぜひという声が上がっていました。そこで57年、当時の中内知事を会長に、有志が集まり「吉田茂先生銅像建立期成会」を結成。寄付を募りながら、計画を進めましたが、国有財産への銅像設置は認められず、完成した銅像が一時倉庫で眠っていたいささつもあるようです。しかし、銅像建立を希望する人たちの熱意により、予定地が県の空港公園として認められ、晴れて空港内に設置の運びとなりました。

日本芸術院会員の木下繁氏（故人）の手により制作され、遠く県外から取り寄せた名石（紅籐石）の台座の上に立った吉田宰相は、土佐の行方をみつめているようです。

いま部落は、そして……。

部落の実態と今後の課題③

「採用試験の現場では」

一九八九（平成元）年、広島県の丁株式会社は、毎月試験の前に身元調査を行っていたことが明らかになりました。

最近では、高校生の就職面接試験のあと、数日で学校側に結果（採用・不採用）を連絡しないと言元調査をして、ハルと疑われるので、事前調査をする企業が増えてきました。丁社でも志望者の家を見に行つたあと、その家の近所の方に、次のような電話をかけています。

「お父さんは〇〇会社に勤めていられますか。」

お兄さんも勤めていられますか。」

お母さんは上場な人ですよ。」

大きな家ですね。お父さんは盆栽が趣味ですね」（結果は採用）

「あそこのA君は、どんな子どもですか。」

妹さんは、どんな子です

か。

お母さんは、どんな仕事をしてますか。夜の仕事ではありませんか。いつも厚化粧をしていますか。

その家に、男性の出入りはありませんか。

母子家庭のようですが、死別ですか。離婚ですか。離婚の原因は何ですか。

あのアパートは、新しいし、場所もよいのに、家賃が安いのはどうしてですか（結果は不採用）

その後の調査で、次のような事実が明らかになりました。身元調査は、広島県内外の広範囲で実施され、わずか二十四人の受験生を二日間に分けて試験を行っています。その試験の内容は大幅に異なつたものでしたが、学力試験は実施していません。にもかかわらず、三人はい

同和教育シリーズ

あのアパートは、新しいし、場所もよいのに、家賃が安いのはどうしてですか（結果は不採用）

その後の調査で、次のような事実が明らかになりました。身元調査は、広島県内外の広範囲で実施され、わずか二十四人の受験生を二日間に分けて試験を行っています。その試験の内容は大幅に異なつたものでしたが、学力試験は実施していません。にもかかわらず、三人はい

ずれも不採用の理由を学力不足とされましたが、在籍校の教師は「学力不足などの事実はありません」と述べています。

これらの事実から、①計画的に身元調査を実施している。

②身元調査にもとづいて、受験生を「採用したい者」と「採用したくない者」に分けていると思われる。

③不採用の子どもたちは、徹底的な身元調査を背景とした偏見の中で不合格となつたと考えられます。

また、福岡県では、企業が両親の仕事や収入を聞いたり、現住所を見て採用を中止したりとみられる差別発想が一五二件（一九九三（平成五）年七月西日本新聞）明らかにされています。

高知県内でもこのような企業がまだまだあり、例年二十〜五十件が明るみに出ています。